



白内障手術

白内障と聞くと、多くの方は霞がかかって見える症状を想像することでしょう。確かに透明な水晶体が濁ってきて、この症状を感じる患者さんは多いですが、ほかにも自覚症状はたくさんあります。



伊藤 勇

保谷伊藤眼科院長

大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

や夜間の街灯がにじんでまぶしく感じたり、朝日や夕日の時間帯が眩しいという方もいます。また、水晶体の透明性が落ちてくると、近視や乱視が進む白内障もありません。特徴的な症状は、見えるのだけと輪郭がぼやけるだけ、片目で2重3重に見えるなどです。治療は手術しかありません。

よく、視力が良いからまだ待ちますといわれることがありますが、視力検査は一定条件のも

た水晶体を除去し、代わりに人工レンズを挿入します。人工レンズには単焦点、多焦点や乱視矯正など種類が豊富にある手術費用ですが、現在の日本の皆保険制度のもと、単焦点レンズについては保険内で手術できます。1割負担で1万3000円/片目、2割3割負担でそれぞれ

2万6000円/片目、3万9000円/片目程度と考えてください。多焦点レンズは、レンズ代が非常に高く、自費扱いで40万円前後/片目です。先進医療が使われる場合もありますので、ご加入の保険会社に問い合わせてみることも重要です。

☎ 042-439-8123

西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F

<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術

白内障手術、眼科一般診療

■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診

※緊急手術は随時対応 ※月・金曜午後は予約優先



	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	／
14:00~17:00	検査・診察	手術	／	手術	検査・診察	／	／